

| 山番号 | 山名 (別名) | 登頂順 | 標高M |
|---|---------|---|-----------|
| 61 | 美ヶ原 | 61/100 | 2,034 |
| 登頂年月日 | | 山頂天候 | 年齢 |
| 2018.1.18 | | | 67 |
| 平成30年 | | 山中宿泊小屋 | |
| | | 王ヶ頭ホテル | |
| メンバー | | 主催 | クラブツーリズム |
| 単独 | 複数 | ガイド | ツアー |
| | | 人数 | 男4 女17 |
| 1971.7.9に一度来たことが有るが、覚えていることはボンネットバスで長々登った事と、帰りにバスのタイヤがパンクしたこと。 | | | |
| | | | |
| コース | | 1/17 竹田8:30バス⇒恵那SA⇒麓でバスを乗り換え16:15王ヶ頭ホテル | |
| | | 1/18 8:00「美しの塔」までスノーシューで下り雪上車で戻る11:00ホテル | |
| <p>美ヶ原は雪で真白。つべんの王ヶ頭までバスで上がってしまったので、これでは登山ではない。ホテルの玄関からスノーシューを履いて歓声を挙げながら高原の雪面を下り、遊んだ後は雪上車でホテルに戻るというレジャースポーツだ。また泊まった王ヶ頭ホテルは噂に劣らぬ御馳走で夜食まで用意。これで「登った」とカウントするには多少気が引けるが、深田久弥は「山には登山と、遊ぶ山とが有る。・・・ただ一つの目標に固執しない」と言っているから堂々と「登頂」としよう。お隣の霧ヶ峰もその類いだ。どちらも東の八ヶ岳から順に南、中央、北それぞれのアルプスに囲まれた日本のインターラーケンだ。日本を代表する山々のパノラマをながめながら次の挑戦に備えて必要な体調と気力、感性の調整地と見るべきだろう。やみくもに登るのではなく、順序にも何かしらの企みを持ってすれば別の楽しみや収穫も有っただろう。</p> | | | |
| | | | |

| 山番号 | 山名 (別名) | 登頂順 | 標高M |
|--|---------|---|------------------------------|
| 62 | 霧ヶ峰 | 8/100 | 1,925 |
| 登頂年月日 | | 山頂天候 | 年齢 |
| 1974.7.23 | | | 28 |
| 昭和49年 | | 山中宿泊小屋 | |
| | | 7/23 霧ヶ峰でテント泊 7/24 蓼科グランドホテル | |
| メンバー | | 主催 | 7/20芳恵とカローラで府中へ |
| 単独 | 複数 | ガイド | ツアー |
| | | 人数 | 7/21国立、長兄宅、次兄宅訪問 7/22再び国立 |
| 以後子供がまだ小学生以下のころ、会社の保養所を利用して家族で蓼科や白樺湖に車でも何度か来ている。美ヶ原と並び「登る山」と言うより「遊ぶ山」の代表格 | | | |
| | | | |
| コース | | 7/23 府中から帰路、蓼科湖、蓼科牧場、白樺湖、霧ヶ峰キャンプ場 | |
| | | 7/24 霧ヶ峰、白樺湖、蓼科グランドホテル7/25白樺湖サイクリング⇒帰宅 | |
| 他の登頂 | | 2007.9.22 橋本氏と霧ヶ峰～上高地のツアーに参加 | |
| <p>結婚して1年、家内と愛車カローラで名神、東名HWを走って府中の実家に帰省しての帰り道、中央高速はまだ大月までしか開通していなかった。甲州の山間部を抜けると右手にデンと構える立派な山塊が見えた。それが八ヶ岳だと解ったのは後の事だった。新幹線から初めて冠雪の伊吹山を観た時の様な存在感があった。蓼科湖、蓼科牧場、白樺湖を巡って霧ヶ峰キャンプ場にテントを張った。夜テントの周りで野ネズミが賑やかだった。翌日の霧ヶ峰は初めて見るニッコウキスゲのが群落が一面満開でとてもきれいだった。午後からは小雨、キャンプは止めて「蓼科グランドホテル」に泊まった。立派な温泉と豪華な料理でネズミが寄って来るキャンプ場とは天と地の差、奮発した甲斐が有った。</p> | | | |
| | | | |

| 山番号 | 山名 (別名) | 登頂順 | 標高M |
|---|---------|--|---------------------------|
| 63 | 蓼科山 | 26/100 | 2,530 |
| 登頂年月日 | | 山頂天候 | 年齢 |
| 1998.5.20 | | | 52 |
| 平成10年 | | 山中宿泊小屋 | |
| | | 旅館「親湯」 | |
| メンバー | | 主催 | 5/19松本、諏訪、蓼科山「親湯」 |
| 単独 | 複数 | ガイド | ツアー |
| | | 人数 | 5/20塩尻「みそう」 5/21名古屋⇒京都 |
| 祭日を挟んでの同じ方面の出張を利用して蓼科山に登った。八ヶ岳は大阪からの日帰り登山は可能だが現地からの日帰りになると時間的に随分楽になる。 | | | |
| | | | |
| コース | | 5/20 女神茶屋(登山口)8:40⇒11:00山頂⇒14:30源橋⇒塩尻 | |
| | | < 歩程6:00 7.1km 標高差890m > | |
| 交通手段 | | 往路: 5/19 JR | 現地: 5/20 バス |
| | | 復路: 5/21 JR | |
| <p>前日は私が基本設計をして完成した住宅展示場の関係者の会議のあと蓼科温泉旅館で慰労会が行われ、ここで現地版社の設計部長自慢の銘酒「真澄」の冬限定「あらばしり」と出会った。以来20年以上私の定番酒となっている。他に新潟は菊水酒造の「五郎八」と「ふなぐち」等も出張先の人々の振舞いで定番に加わった。缶の「ふなぐち」はいつもザックに忍ばせていく。それぞれの酒を呑む度に地元の人々の笑顔と料理を思い出す。酒料理では盛岡の「南部焗端」が良かった。蔵の二階を改造した飲み屋で、上がり床がテーブル代わり、床の中央の炉辺に主人が座っていて注文を受けたり、おしゃべりする。中々の人事通で話し好き、捕まったら離してくれない。料理は定番で黙っていてももんぺ姿のお姉さんが田舎料理を盛った16の小皿が並ぶ盆を手際よく運んでくれる。</p> | | | |
| | | | |

| 山番号 | 山名 (別名) | 登頂順 | 標高M |
|--|---------|---|-------|
| 64 | 八ヶ岳(赤岳) | 12/100 | 2,899 |
| 登頂年月日 | | 山頂天候 | 年齢 |
| 1994.7.10 平成6年 | | | 48 |
| | | 山中宿泊小屋 | |
| | | 7/9赤岳山頂小屋 | |
| メンバー | | 7/7松本ニュースデー ションH 7/8村井、茅 野ステーションH | |
| 単独 | 複数 | ガイド | ツアー |
| | | | |
| 松本の定宿ニュースデー ションHの1階「白馬」は 岩魚の骨酒が最高!泊 まる度に先ず飲む。 | | 赤岳は八ヶ岳の主峰で登った のは一度だけ、そのほかの峰 には何度も登ったが、一度一 文字に南北縦走をしたい。 | |
| 同時登頂 | | 硫黄岳、横岳 | |
| コース | | 7/9 美濃戸口9:30⇒13:30硫黄岳⇒14:40横岳⇒16:10展望荘⇒ 16:49赤岳山頂小屋<歩程7:20 標高差1,419m> | |
| 7/10 | | 赤岳山頂小屋6:30⇒山頂⇒10:10美濃戸口⇒バスで茅野 | |
| 交通手段 | | 往路:7/7JRで松本 7/8 現地:バス 復路:7/10バス、JR TAXI、JRで茅野 | |
| その他の 八ヶ岳 | | 1994.6.12-14天狗岳(単独)、6.24北横岳(単独)、1995.10.7-8渡辺、竹杉、 山口さん等と中山峠、1997.2.28-29梅津ガイドと中山峠で個人雪中訓練 | |
| <p>今では登山の衣類や装備、ギア類は軽量、快適、高機能化しているが、この時はまだ私はポンチョだった。赤岳展望荘辺りから風</p>  <p>雨が強まりポンチョは千切れそうだった。更には雷鳴も轟き出した。そこは迷わず展望荘に飛び込むべきところ、怖さ知らずの悲しさ、パスして500m程先の赤岳山頂小屋まで這う様に頑張って登ってしまった。運良く被雷せずに入口にたどり着き、引き戸を開けた途端そこは明るくて暖かいまるで別世界。人もいっぱい「大変だったね」と迎えてくれた。石油ストーブを囲んで4、5人と服を乾かした。</p> | | | |

| 山番号 | 山名 (別名) | 登頂順 | 標高M |
|---|---------|---|-------|
| 65 | 両神山 | 88/100 | 1,723 |
| 登頂年月日 | | 山頂天候 | 年齢 |
| 2010.10.19 平成22年 | | | 64 |
| | | 山中宿泊小屋 | |
| | | 白井差小屋 | |
| メンバー | | 主催 アルプスエンタープライズ | |
| 単独 | 複数 | ガイド | ツアー |
| | | | |
| 人数 | | リーダー | |
| 22 | | 清水氏 | |
| | | 新宿発 | |
| | | 10/19府中泊。 10/20帰宅 | |
| コース タイム | | 白井差小屋10:17⇒13:20山頂13:30⇒1:35 ⇒白井差小屋 <歩程5:18 標高差863m> | |
| 交通手段 | | 往路:府中より京王、新 現地: 宿よりバス 復路:バスで新宿まで、 京王で府中へ | |
| 10/14から7日間の間、10/14新宿で薬師岳の仲間と再会。10/15-16 八海山、巻機山登山。10/17母の白寿祝い。10/19関べで講演 | | | |
| <p>埼玉県唯一の百名山。目下地主と県が通行権で争っていて勝手に入れない。現地では地主の中山氏が全行程に同行。梵天尾根ルート以外の険しいルートは廃道にしているので両神神社には寄れなかったが頂上には小さな石の祠があり、木をくりぬいた鳥小屋のような珍しい賽銭箱が有った。</p>  <p>底が抜けているのか下に小銭が沢山こぼれていた。町では見られない素朴でおおらかな風景だ。賽銭箱の写真を収集している知人に提供しよう。今更だが私も山に因んだ何かテーマを持って登って来たらよかったと思う。山頂の石ころだったら少しはあるが・・・これはルール違反か？</p> | | | |

| 山番号 | 山名 (別名) | 登頂順 | 標高M |
|--|---------|--|-------|
| 66 | 雲取山 | 94/100 | 2,017 |
| 登頂年月日 | | 山頂天候 | 年齢 |
| 2011.10.8 平23成年 | | | 65 |
| | | 山中宿泊小屋 | |
| | | 雲取山荘 (平成11年築ログハウス) | |
| メンバー | | 主催 アルプス エンタープライズ | |
| 単独 | 複数 | ガイド | ツアー |
| | | | |
| 人数 | | リーダー | |
| 12 | | 天野一郎氏 | |
| | | 10/6熱海、府中 10/7国立、府中泊 10/8奥多摩発 | |
| | | 10/9西武秩父 ～池袋解散 | |
| コース | | 10/8 鴨沢10:15⇒16:10山頂⇒16:45山荘<歩程4:30標高差1,477m> 10/9 雲取山荘6:00更に北上⇒三ツ峰神社⇒西武秩父～池袋 | |
| 交通手段 | | 往路:10/8府中より京王 現地:10/9ロープウェイ、 新宿集合、バス 復路:西武で池袋解散西 武、JRで帰宅 | |
| <p>雲取山は東京都の最高峰、都心から山頂が見える。山頂からは普通は山地図で山座同定を行うが、私はPCソフトを使って360度の3D画像をプリントして持参している。これだと地図より遠い山も把握できる。しかしガスったり曇りや雨だと使えない場合が多い。私のデータ集計では46%が晴れたが28%はガスか曇り、24%が雨か雪だった。半分が無駄だったかと言うとそうでもない。慰めに「あの辺に〇〇岳が・・・」と言う具合に方位を定めて想像することが出来る。今では高機能の腕時計は当たり前で、GPSの受信機を持参したりドローンを飛ばす人も居て、これからもっと変わって行くのだろう。</p>  | | | |